

【HASHI WAVE CLASSIC 2023】

□開催日：2023年9月16日（土）17日（日）

□開催地：島根県江津市波子海水浴場

□主催：JWA（一般社団法人日本ウインドサーフィン協会）

□協賛・協力：マジックアイランド/(株)古城門設計事務所/浜田ライフセービングクラブ/(株)オンズカンパニー
スターボードジャパン(株)/(株)マニューバーライン

□助成：スポーツ振興くじ助成



大会動画 <https://www.youtube.com/watch?v=FjAXfCPh4wk>

大会写真 一日目 <https://img.gg/eivc9Gu> 二日目 <https://img.gg/MPC7W9p>

白い砂浜とクリアーに透き通った海水が最高に気持ち良い、島根県波子海水浴場。

今年は全国的に猛暑が続き、9月中旬のこの日でも35度を超す猛暑。

海に入るには絶好の環境が整い、大会会場には50名弱の人が集まった。

例年、秋の季節になってくると北寄りの風が吹くことが多く、ウインドサーフィンに適したコンディションになることが多い。しかし、今年は暑すぎた為か、まだまだ夏の雰囲気が漂う天気図。

どの天気予報サイトも風は期待できない予想をだしている。

9月16日（土）大会1日目

波は有るが風はない。波乗り好きな人たちが多く集まっている大会なので、波を使ったファンイベントを開催することにした。

参加選手の中から有志を集い、SUPクラス・SURFクラス・ボディボードクラスで波乗りコンテスト。



グループに分けてトーナメントで勝ち上がった選手達で決勝戦を行い勝敗が決定する。

波のサイズが時間の経過と共にスモールサイズとなっており、波の選別が勝敗を分ける一つのポイントとなった。

高ポイントが付いた選手は、このコンディションの中で良い波を見つけ、しっかりとライディングを披露してくれた選手達だ。SUPクラスの決勝では上位3名の選手が拮抗する展開。

福田選手（予選1位）・大田選手（予選1位）・佐藤選手（予選3位）が良い波に乗り、高ポイントをマーク。

結果は後ほど。



SURF クラス、こちらもグループに分けてトーナメントで勝ち上がりからの決勝戦を行った。

波がブレイクし辛く、サーフィンにはかなり難しいコンディション。ジャッジをするのも難しいコンディションだったが、波の形・サイズ、テイクオフの場所、ライディング等、出来るだけ細かく評価項目を増やすことで、ポイントの差を付けることとした。

ロングボード優位な状況の中、ショートボードで参加の植田選手。プアーなコンディションではあったが、テイクオフの回数も一番多く、ライディングもジャッジの目線を引き付ける選手だった。

決勝では、植田選手（予選1位）・大田選手（予選1位）・森田仁選手（予選2位）が僅差で争った。

ショートボード対ロングボード（大田選手はSUP）、小学生対 大人二人、という構図が出来上がり、ギャラリーも大いに盛り上がった。（小学生は植田選手）



↑写真は増田選手。入賞は逃してしまったものの、ふわりと脱力したライディングはジャッジに好印象を与え、フォトジェニックな一枚を残してくれた！！

撮影は、プロカメラマンの中川氏。

*大会に参加するとこんな写真を撮ってもらえるチャンスです！



SUP クラス 優勝：佐藤選手 2位タイ：大田選手・福田選手

高得点を叩き出したこの3名だが、ロングボードで参加の佐藤選手が、良い波を捕まえ最後までしっかりとロングライドしたことが勝因となった。



SURF クラス 優勝：森田仁選手 2位：大田選手 3位：植田選手

決めてはやはりロングライドとアピール力。大人とか子供とか関係なく、結局は全力で楽しんだ者の勝ちと言った所だ。大田選手に至ってはSUPとSURFでダブル入賞！間違いなくこの方が一番全力で楽しんだに違いない。



ボディボードクラス 優勝：齋藤選手 2位：勝又選手

初々しい二人は波子の海を堪能し、良い笑顔で波に乗ってくれました。



1日目最後は、ファンイベントの表彰と乾杯！で親睦。

乾杯！は、ベーシックデザイン様（兵庫県明石市に有るウインドサーフィン Shop）より頂きましたビールで！

*運転される方はもちろんノンアルコールです。

今回は親睦パーティーの開催ができなかったが、来年こそは開催したいと思います。

9月17日（日）大会2日目

オフショアの風がそよそよ吹いて、海面はフラット。昨日までの波がどこにも見当たらない。

この大会はWAVEが主だが、スラーロームのクラスも有る、少し変わった形態のイベントなのだ。

しかし、違う種目の選手が交流できる数少ないイベントともいえる。

さて、風向きがやや左からのクロスオフと変わったのを機に、ファンスラローム ビギナーから試合を進める事となった。



ファンスラロームビギナーメンズクラス 優勝 植田琉巳

ファンスラロームビギナーウィメンズクラス 優勝 勝又咲耶 2位 齋藤麻衣子 3位 石井さおり

この大会は、全てビーチスタートでのレース方式。

ビギナークラスが2レース成立した時点で、風が更に触れ、左からのサイドショアに。

風速も急激に上がり 10m/s オーバーの風が吹いてきた。

マークを打ち換え、ファンソロームのオープンクラスとウィメンズクラスも行うことになった。

オープンクラスはラウンドロビン方式で2クラスに分けスタート。

第1グループのヒート。

ややサイドオンに風が振れ、若干落ちついてしまったもののレースには良いコンディション。

スタートの合図と共に、服部選手・井上選手が飛び出し、抜いたり抜き返したりと良いレースを展開。

最後は風が振れたのか、フィニッシュマークの風下に行ってしまう、二人同時にタック。わずかにリードしていた服部選手が、高位置でタックレリードを広げてトップフィニッシュ。井上選手、竹中選手が続いた。



第2グループのヒート。大田選手がグットスタートでレースを引っ張る。吉田選手がその後ろに続き、他の選手が続く。しかし、大田選手が向かった先は第2マーク。すべての選手がコースミスのままフィニッシュしたため、第2グループ全員 DNF となってしまった。



ウィメンズクラスがスタートするころに、更に風が振れクロスオンショアに。コースを変更しスタート。

全選手が落ち着いてスタートを決め、スルスルと走りだす。小野選手がややリードし始め、そのままリードを保ちフィニッシュ。福本選手・増田選手と続いた。



ファン斯拉ームオープンメンズクラス 優勝 服部春吉 2位 井上知也 3位 竹中朋幸
ファン斯拉ームウィメンズクラス 優勝 小野心暖 2位 福本萌歌 3位 増田紗蘭

風はやや落ち着いたものの、波のサイズはしっかりと上がってきている。

待ちにまった WAVE ヒートを始めることとなる。

最初は WAVE オープンクラスからスタート。しかし、風がみるみる弱くなってしまい、キャンセル。



風が吹いて来るのを待つのか、選択する状況となってしまった。残り時間と今後の天気の変り変わりとを睨めっこ。梅雨レーダーなど参考に見ると、雷雨を伴う雨雲が局地的にかすめる可能性もあり、風を待っていると何もできなくなる可能性も考慮。

急遽 WAVE のファンセッションを行うことに決定。

選手を集め、現在のコンディションでも乗れる方で、有志での参加という条件で行うことに。

表彰は選手の演技がジャッジに与えたインプレッションによって賞を与えることとした。

選手の準備が整い、MC がスタートまでカウントダウン 10・9…5、一人だけスタート前から乗り出していく方が…。早速受賞有力候補に抜擢されたのは遠藤選手！

遠藤選手はグランドマスタークラスで優勝の常連。やはりライディングも一番良かったのですが、賞の名前は「ちょっとフライング賞」となりました。

そして次の受賞者は、一際大きいボードとセイルを駆使して、アグレッシブに動き回り波を捕まえて来る大田選手！昨日といい、今日のレースといい、今もカメラマンの位置を意識したライディング！



受賞名は「アグレッシブ賞×よくばり賞」とダブル受賞でした！

続きまして、江角選手が受賞。一番沖合から波をキャッチして誰よりもトップターンの数が多く、良いライディングを披露していただきました。受賞名は「アピール賞」

そして、キャッチする波が程よく良いと。柳川知子選手「グットピックアップ賞」とさせていただきます。

残り時間わずか、MCが終了のカウントダウン、10・9…、このタイミングで波をキャッチしてテイクオフ！終了のフーンと共に波に乗った植田選手、「最後まであきらめず頑張りましたで賞」ということで、5名の選手がファンウェーブセッションの受賞者でした！！



※以下写真は受賞とは関係ありません。



この2日間、ウインドサーフィンで繋がった皆様と本当に楽しく過ごさせていただき、来年は更にパワーアップして開催したいなと思えるイベントでした。

私の波子でのWAVEは来年に持ち越しとなりました。

皆様、来年も波子でお会いしましょう！！



最後に、大会開催に向けご尽力いただきました皆様、ご協力・ご協賛いただきました皆様のご支援を賜り大会の開催ができましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

拙い文章ではありますが、お礼とさせていただきます。

ご協賛・ご協力いただきました皆様／順不同

マジックアイランド 様／(株)古城門設計事務所 様／浜田ライフセービングクラブ 様

(株)ON'SCOMPANY 様／スターボードジャパン(株) 様／(株)マニユバーライン 様

O'NEILL (株)モビーディック 様／Basic Design 様

JWA WAVE 委員長 吉武雅博